

知事コメント

令和3年3月26日(金)

本日、沖縄県内で新たに89名の新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されました。感染の急拡大に歯止めがかかっておりません。

直近1週間の新規陽性者数も416名となり、先週と比べた上昇率も90%以上となるなど、感染拡大のスピードも上昇しています。感染経路の多くが、県民同士の飲食によるものです。

警戒レベル判断指標の状況を見ますと、療養者数は545人、新規感染者数は416人となるなど、今年1月上旬に緊急特別対策として県内5市の飲食店等を対象とした営業時間短縮を要請した時の水準に達していません。

直近1週間の10万人あたり新規感染者数についても、25.43人と、宮城県に次いで全国ワースト2位となっています。このままいくと、沖縄県が全国で最も感染リスクの高い地域となってしまいます。

現在、若年層を中心に拡大している県内の感染が、これ以上広がらないためにも、県経済をしっかりと回復させるためにも、今の段階で感染拡大を食い止める必要があります。

本日、経済対策関係団体会議を開催し、各経済関係団体ともこの危機感を共有し、現状の厳しい感染状況については、行政、業界一体となって感染拡大防止策を図ることが重要という点で一致したところです。

県としては、感染拡大を食い止めるために取り得る対策は全て講じていきたいと考えております。県民に対する外出自粛を要請することも検討しています。当然、主な感染源となっている飲食店等に対する時短要請や、それに伴う財政的な支援を国に要請することも視野に入れております。昨日、西村大臣からも私に連絡があり、本県の感染状況を大変憂慮されており、強い措置を講じる必要があるのではないかと意見がありました。私権や経済活動を制限する対策については、重大な判断となることから、今日の経済対策関係団体会議からの意見や今後の感染状況、専門家会議からの意見を踏まえ、日曜日に改めて経済対策関係団体との会議を開催し、総合的に判断する必要があるものと考えております。

なお、本日、私と三役総出で、飲食業組合や社交飲食業組合も同行の上、繁華街への巡回活動を実施します。巡回活動は、沖縄市、那覇市、浦添市、うるま市、宜野湾市の5市それぞれの繁華街エリアを巡回し、普及啓発チラシを配布しながら感染拡大防止対策への協力を呼びかけるとともに、シーサーステッカー掲載店舗等を訪問して感染対策の取組状況や利用客の状況などを実際に目で見て確認してまいりたいと考えております。

さらに、那覇・松山地区における接待・接触を伴う飲食店の従業員の皆さまを対象に、集中的な無料PCR検査を実施いたします。明日から来月11日までを集中実施期間とし、1日当たり100名、16日間で1,600名を対象に無料で検査を実施いたします。松山地区内で配布するクーポンを持参していただくことで、指定する検査センターにて無料での検査が可能になります。心当たりのある方はぜひ受検してください。クーポンは本日夜に実施する巡回活動から随時配布してまいります。

そして、引き続き人の移動の増加に伴って感染が拡大するリスクを低減するため、那覇空港で検査を受けられる体制「NAPP」についても、学割を導入し、対応件数を増加するなど拡充を図っております。また、県民がいつでも、誰でも、安価なPCR検査が受けられる体制を整備しており、市中感染についても拡大防止を図っているところです。なお、国においても、モニタリング調査など、検査体制の拡充が検討されているため、連携して感染拡大の抑制を図っていきたいと考えております。

また、変異株の流行拡大を早期に覚知し回避するため、変異株のスクリーニング検査の対象を、行政検査で陽性となった全ての検体へと拡大させていただきます。感染症指定医療機関にも協力を求め、入院中の新型コロナ患者の検体についても、対象に加えるよう調整してまいります。

この1年間、長期にわたるコロナ禍の中、多くの方々から感染拡大防止対策に理解と協力をいただけてきました。しかしながら、大事なことは、みんなが今の危機感を共有し、感染対策を理解し、確実に実践することです。

当面は、歓迎会や送別会、できれば模合などの飲み会も、自粛をお願いします。不安のある方や旅行を予定している方々は事前の健康観察とPCR検査の受検をよろしくをお願いします。一日でも早く元の生活を取り戻したいと、

誰もが思っていることと思います。そのためにも、県民一丸となって一緒に頑張ってもらいましょう。支え合い、信頼し合って、マスク着用や人と人との距離を空けるなどの声を掛け合いましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。